

科目区分	基礎科目	科目名	生活と書		科目コード	10210	担当者	江副功	
対象学生	全学2年生		学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	選択必修	
							免許・資格要件		
科目の主題							成績評価の方法と割合		
書の歴史・理論・技法・鑑賞・表現などを考究する。							提出物 (50%) 受講態度 (50%)		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)	明確な意志と実践力 (実践)
1.	文字の歴史を学ぶことによって、伝統文化としての「書」の存在意識を理解する。						○		
2.	「美しい文字」を鑑賞することによって、感性を高め技法の上達にも努める。							○	
3.	朝日新聞「天声人語」等によって、読み・書き・話す能力を高める。							○	
4.	静聴できる態度 (心構え・習慣) を体得する。						○	○	
5.									
授業方法									
その都度、プリントを配布し、それに則り講義 (演習を取り入れる) する。									
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)									
日頃より「文字」に関心を持つよう心掛けること。 専用のノート (A版) と鉛筆 (B又は2B) ・ボールペン・筆ペンを準備。シャープペンは不可。									
授業計画									
第1回	書へのいざない 一書の魅力の再発見一					天声人語書き写し (20分)			
第2回	楷書の歴史と書法 (特徴・形の取り方・表情)、唐の四大家。					〃			
第3回	〃 (北魏周辺の歴史と書法)					〃			
第4回	ペンによっての楷書の書法 (ペン字にて筆順・書法の演習)					〃			
第5回	〃					〃			
第6回	〃					〃			
第7回	行書の歴史と書法 (特徴・形のとり方・表情)					〃			
第8回	ペンによっての行書の書法 (筆順の変化・形のとり方)					〃			
第9回	〃					〃			
第10回	〃					〃			
第11回	楷書・行書・草書とかなの関係 (草書体・連錦)					〃			
第12回	かなの歴史と書法 (かなの誕生、片かなの誕生)					〃			
第13回	ペンによってのかなの書法					〃			
第14回	漢字・かな交じりの書法・手紙文・ハガキ文					〃			
第15回	書道概論の総括から“生活の書”へと導く。					〃			
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
特に定めない。 その都度、資料 (プリント) を配布する。					この授業において、ジェネリックスキルをも涵養してほしい。				